

きずな 絆

令和3年5月6日 北九州市立赤崎小学校
校長 二宮 利之
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

コロナ変異株に注意、 引き続き、自分を大切にし、 仲間も大切にする子に！

一年前は、この時期は休校でした。今年度は、いっせいの休校措置はなく、それぞれの学校の状況に応じた最善策を講じることになっています。

本校においては、保護者の皆様のご協力のおかげで、通常の学校生活を送ることができています。しかし、コロナ変異株が猛威を振るい、油断のならない状況です。他校では、五月に予定していた運動会や宿泊行事に対して、延期の判断が下されました。本校は、もともと、二学期の開催でしたので、大きな影響はないのですが、遠足・家庭訪問は内容の変更が余儀なくされ、六月の学習参観も変更等の検討に入らざるを得ないと考えています。

新型コロナウイルス感染防止の細かな配慮を徹底しつつ、子どもたちをつぶさに見守っていきたくと思います。

学校は、どんな時でも教育の場としての機能を忘れてはいけないと思います。

コロナウィルスが身近にあることを前提としての生活だからこそ、一人一人に育てられる資質・能力もあります。『まずは、自分を大切に、行動を決めること、そして、周りの人を大切に思い、行動する気遣いのできる心を育てること』を引き続き訴えていきたいと思っています。

- 時間はかかるけれど、手洗い・消毒をする。
- 暑いけれど、家から出るときは、マスクをする。
- 忙しいけれど、熱を測り、健康チェックをする。
- 手をつないだり、腕を組んだりしたいけど、いましばらくは、我慢する。

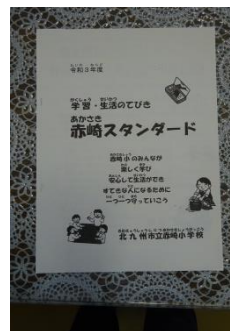
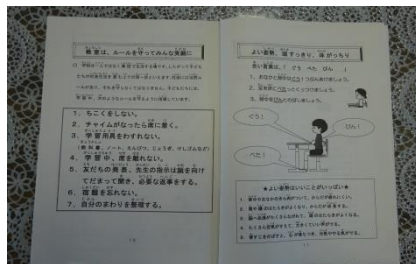
など、どれも「自分と人を気遣う心」の具体的な姿です。これらが身に付いた子が増えました。「気遣いのできる子」に育っていると感じます。引き続き、ご家庭のご協力が必要になります。どうぞ、よろしくお願いします。

★赤崎小学校の一学期の取組について★

①このような状況下でも、 「落ち着いて、学びに向かう児童」を目指す。

一学期には大きな行事を入れず、落ち着いて、安心して学べる学級づくりに力を入れるよう、教職員全員で取り組んでいます。

その取組の一つとして、「赤崎スタンダード」を配布し、年間の指導に生かすようにしました。特に、4・5月は、新しい学級の立ち上がりです。この「赤崎スタンダード」を活用して、子どもたち自身には学びに向かう姿勢を身に付けさせ、安心安全に学べる環境づくりを進めてまいります。



「赤崎スタンダード」は、校則という内容ではありませんが、中学校とも連携を取り、学習・生活指導のよりのところとして、活用していくものです。児童本人用に一冊（学校保管）、ご家庭にも一冊（家庭保管）を配布します。保護者の皆様にも、熟読していただき、ご理解・ご協力をお願いいたします。

②安全な学校生活を送るための様々な点検に力を…。 そして協力を願いたいこと

若松区内の学校でバスケットリングが落下し、生徒がケガをしました。また、他県では防球ネットが倒れ、児童の尊い命が奪われました。

児童が、安心・安全に学校内で生活できるように、本校でも設備を点検しました。点検の結果、当面は破損の心配はないものばかりでしたが、使い方を守らず、ぶら下がったり登ったりすると危ない設備は、大事を取って「使用禁止」の措置を取っています。



また、地域の方・徒歩で送迎されている保護者から、登下校時に、「正門から何台もの自家用車が入り出して危ない。」「正門の横断歩道付近で子どもさんを乗り降りさせていて危ない。横断歩道を渡る子どもたちも危険にさらされている。」

と心配の声が寄せられています。

自家用車で通勤・退勤する教職員には、細心の注意を払って侵入するように注意喚起・指導しています。

保護者の皆様においては、校区外通学・足等のケガによる送り迎えなど特別な事情があり、保護者より相談があった場合には、自家用車で送迎・校内侵入を認めております。

それ以外の方につきましては、正門を含む校門付近の駐停車、校地内への侵入はご遠慮ください。
ご理解・ご協力、お願いします。